

刊夕日二十月七



定価一紙一円二ヶ月五拾五銭郵費五銭  
 廣告料五號十二字詰一行金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社 編集 文 書  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社  
 電話 六三〇

# 佛説三千年(二)

眞 繼 雲 山

小さな炭火は早く灰となるやうに、古來幾多の宗教は生れては死し出で、は、幻のやうに消えて行つた。佛敎が假りに根柢なき淺薄なものであつたなら、この二千五百年の間に何人かによつて論破一蹴されやがては煙の如く消え失せてゐたは相違ない。

然るにこの二千五百年の間に、馬鳴・龍樹・天親など支那日本に轉じてさへ幾多の祖師高僧方が單なる默信でなく、眞剣に検討し學し究明せられた結果、成るほどと合点して佛法に歸依し尊信されて來た裏書的事實は、私たち不學な後進に取つて如何に力強いものであらうか。

私の如きは淺才の故に不幸にして佛法の堂奥を大悟し得ないとしても、この三千年間の高僧碩學の裏書に信頼して佛敎の約手を取り入れるとしても、ヨモ不渡りとなる懸念は無用であらう。

若し佛説に一点の虛妄あらば三千年間の碩學偉材が身命を投せられてゐる筈がない。

私は歴史の力を信すると

共に又多くの人々の力の富積を信する、江戸城、大阪城の巨大でさへも何萬何十萬人の力の集積に外ならぬ。佛敎は明らかに釋尊の敎説であるも、爾後三千年の間に幾多の祖師高僧方によつて培養され、助勢され、検討され、究明され、體驗されつゝ大成されて來た一つの眞理の表現が時代の試練を経てゆるぎなきものに完成されたのであるが、現代の佛敎である、この故に眞理そのものは萬古不易であにしても、その表現としての佛敎は三千年の間に偉大なる發達を遂げて來た。

傳敎弘法といひ、道元・西といひ、法然・親鸞・日蓮といふも皆な是れその歷程における巨匠であり、若しくは礎石であつたのである。

斯うして現代の佛敎は私たちの頭上に惠まれ、展開してゐるのである、門外無信の人たちが冷やかに危惧するほどに佛敎は淺薄なものでないことを安んじてよ

救世敎といひ、法王敎といひ、太陽敎といひ、至誠敎といひ曰く何々々、うた

かたの如く且つ結び、且つ消えゆく群れの多くを見て近時、新にこの感を深うする。(了)



## 詩集

赤松翠

私はつめたき一冊の詩集。

すべてのおもひ永劫に語るまじ。

かくして

私はすべてを我が爲めの押花となさむ。

詩集故に  
 我は陶器のひとみをもちて  
 永遠に  
 壓の如く生きむ。

看護婦急派  
 の求めに應  
 じます

平町南町  
 平看護婦會  
 電話三〇七番

土用の丑  
 うなぎの御用命は  
 専門の江戸川  
 電話五四七番

正札堂の夏服

黒セルセビロ上下 六圓ヨリ  
 パンピースセビロ上下 八圓五十錢ヨリ  
 ポーラーセビロ上下 九圓ヨリ  
 ポーラー最上品三ツ組 拾八圓五十錢  
 白ズボン 七拾五錢ヨリ

正札堂洋服店  
 電話四三六

平新川町十九  
 外産婦人科  
 木村病院  
 電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎  
 婦人科 醫學士 内 木宗八  
 内臓外科  
 整形外科  
 泌尿器科

經濟優美  
 靈柩自動車

平町新川町  
 橋本屋造花店  
 電話一六三番

海にも山へも!  
 御重入辨當

美味しくて滋養になりしかも體裁もよく何より  
 中食には一番だど何處でも大好評です。何卒御  
 持參下さい。

御料理 錦水  
 仕出し 電話四五四

産名城磐  
 對節齋  
 魚問屋

配達敏速

最優最 大日 命生 平代 店理  
 榮盛 賀電 目丁  
 番三一 二電 四平

度量衡、計量器、吸入  
 用酸素、酸素吸入器  
 關内藥局  
 電話四〇番

市原醫院  
 平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎  
 外科一般、婦人科 市原陸郎  
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

### 小名濱漁港々底に 淺瀬を發見

漂砂の推積が甚しい  
至急取拂を陳情

石城郡小名濱漁港の漁業組合荷揚場附近の海底には漂砂の推積が多いので過般より縣工事として假防砂堤の設置及び漂砂の浚渫工事を計つたが最近附近海底岩盤の淺瀬を發見鯉魚の水揚に非常な支障を來して居るので本日小名濱漁業組合長水野政治郎氏は平土木監督所にて前記淺瀬の取扱ひ及び防砂堤の延長工事を起され度いと陳情した

(接待係) 廣田、山田、館野、松本、紺野  
(警備名尾) 橋本、鈴木、本多、山崎、豊口、國分、小松、小野  
(採点係) 橋本、佐々、渡邊、根本、小松、大淵、谷(点檢係) 梅森、吉田、谷

澤、梶原、近藤、豊口、(タイム) 菅野、鈴木、青天目、廣木、國分、根本(賞状係) 中柴、(總務部) 齊藤、廣田、紺野、(衛生係) 梅森

### 公民學校 生徒を募集

既報平商業補習學校を改稱した平實業公民學校にては今秋九月上旬開校すべく生徒の募集開始したが、締切は九月一日である

### 矢田川の 沿岸民泣く

先頃の豪雨にも  
流出水田數町歩

石城郡玉川村字大原地内より林城に至る矢田川沿岸の部落民は同川の増水毎に水田の浸水流失するものが多く數日前の豪雨にも流失數町歩に及んで居るので本日村長駒木根忠三氏外村土木

委員の一行が平土木監督所を訪ね今回内務省で發表された各府縣土木工事費の國庫補助四分の三が實現する際は是非矢田川の河川改修工事を施行せられ度いと陳情する處があつた

委員の一行が平土木監督所を訪ね今回内務省で發表された各府縣土木工事費の國庫補助四分の三が實現する際は是非矢田川の河川改修工事を施行せられ度いと陳情する處があつた

### 當てのない 寶探し

當世珍職業

世上が極端な不景氣で何れを向いて見ても就職難失業苦の扉を閉じさられ

▼土瓶で鮪を...茹でたやうに手も足も出ない斯ふなると猶鼠却つ

食むで色んな珍職業が現はれる...この程長橋町の堀で雨上りの溝浚へを一生懸命にやつて居る男があつた、頼みもせぬのに

▼殊勝なこと...である...と立ち止つて見て居ると一寸の間にドブの中から鱈ならぬ五十錢玉一つを握り當てる...何んの事だ衛生の爲めでなく當て

### 急告

左記各號の「常警毎日新聞」

相當代價にて譲受け度しお持ちの方方は御一報を乞ふ。 姓名在社

年月日(夕刊)	號數
昭和三年八月八日	一三七九
同 三・八・一一	一三八一
同 三・八・二七	一三九五
同 四・一・一	一四八九
同 四・四・九	一五六六
同 四・四・一五	一五七一
同 四・六・二八	一六三一
同 四・六・二九	一六三二
同 四・一〇・一一	一七一六
同 四・一〇・一六	一七七〇

### 講習會の 出席導訓

平第一小學校訓導 今夏休中各種講習會出席者左の如くである

△夏季大學 双葉郡新山町 八月一日より五日間(井上、大和田、瓜田)  
△体操 平第一小學校八月三日より三日間(井上、小林、古川、藤田)

### 講習會の 出席導訓

△遊戯 平第二小學校八月八日より三日間(平塚、矢野、黒木、坂内、小林、玉手、藤田)  
△手工 平第一小學校八月二十五日より三日間(平塚、矢野、松本、根本、黒木、坂内、横田、吉成、樋口、中村、小林、玉手、古川、力丸、根本、上川、大和田、藤田、山口、瓜田)

### 伊藤痴遊代議士を 招いて新講談の會

招いて新講談の會

平町南町青年團にては来る二十九日午後七時より聚樂館に於て代議士伊藤仁太郎氏を招き新講談の會を催し同氏一流の興味多き政界裏面史や幕末潔士の談を傾聴すると

漁港工事視察 大藏省竹内事務官並びに農林省

### 磐中が 大勝

磐炭對の  
陸上競技

既報磐城中學校競技部にては昨日午後一時より磐炭と試合を行つたが磐中コンデション頗る良く三十九對十九にて大勝した

### 出場選手の 宿舍割

磐城中學校に於て開かれる縣下中等學校柔剣道大會の各出場校選手宿舍を左の如く決定した

(住吉屋本店) 會津中 相馬中 保原中 相馬農(新藤屋支店) 安達中 白河中(鶴屋) 福中 會津農(和泉屋) 若商 會津中(藤田屋) 石川中 岩瀬農(大村屋) 福師(尼子) 安積中(扇屋) 福商(新藤屋本店) 双葉中

### 來る 土用丑の日

牛肉大賣出し

ヒレ百匁ニ付 金六十錢  
ロース 全 金五十錢  
上肉 全 金三十五錢  
並肉 全 金二十錢

品は特に吟味致します

何卒御用命は

電話六六七番へ!

配達迅速 大塚肉店 平驛前新道通り

### 提灯

御新佛御供養の  
御法名入提灯の大奉仕

瓜形 一對房付 金一圓五十錢より  
角形 同 金一圓九十錢より  
其他岐阜提灯種々取揃へてあります  
是非御下命は電話九五番

平四丁目

ガノヤ提灯店

# 珍聞・犬の自殺

## 通行人に噛付き負傷せしめ 飼主に恕られて申譯なすと

石城郡赤井村字谷田子澤居住泰源吾(五)方の飼犬は去る廿日午前六時頃通行中の同村字常住田中留吉(三)の右手甲に咬付き傷を負はしたので主人は立腹して犬を荒縄で繋ぎ食事もロクに與へずに置いた處今朝六時頃犬は飼主に申譯なしと思つたか荒なはで自分の首をしめ縊死したのを發見し流石の飼主も氣味悪くなり本日平署に検視を願ひ出たが犬の検視とは前代未聞で平署も一寸其の處置に窮した

七軒町生れ南部豊吉(六)で去月中迄茨城縣多賀郡某炭礦飯場で坑夫稼業をして居たが經營者は不況の爲め使用人に給料を與へず出て行

## 荒縄で首締め

## 生活「溺る」夫

### 妻の歸國する 旅費を酒色に

石城郡小名濱町字西町渡邊辰之助方同居人江原利平の妻タケ(三)は一昨年利平に嫁して二女を擧げたが最近夫は酒色に溺れて失業し前記肩書の友人方に厄介なつて居るに拘らず夫の身持ちが納らず生計難から別れ話となり妻は實家の静岡縣加茂郡城東村字良元居住の兄江原才吉より歸國の旅費七圓と衣類等を送つて貰つた處夫は無法にも現金と荷物を酒色に費消せんとしたので本日タケは平署に出頭泣く泣く夫の説諭方を願出た

## 就職難を 悲觀して自殺

### 赤井嶽登山口で

石城郡赤井村岡井嶽登山口附近山林内に廿一日午前九時頃労働者風の男が松の木にて縊死した屍体を通行人が發見届出たので平署で検死の結果本月初旬頃から

## 暴力犯人言渡

昨報石城郡泉村大字泉字小山六十五番地會社社員佐藤權兵衛(三)及び同人方無職高

## 老爺昏倒

昨夜十時頃平署受付窓でルンペン風の男が空腹に耐えず昏倒せんとしたので係員が手當を加へ事情を聞くと同人は福井縣大野郡大野町

## 共同米の販賣 勿來

町農會の共同米販賣は去る廿日行はれ四等十俵、五等二百二俵、等外九十三俵、計二百五俵を入札の結果四等健値八圓十五錢にて勿來町の平山昇氏に落札されたが前回より二十一錢の安値であつた尙神谷村農會の入札は昨廿一日行はれる筈であつたが米穀商人が集まらず遂に中止となつた

## 踏切を横切る際に 兩足を轢斷されて

### 魚行商の女が絶命

石城郡内郷村字平太郎山口卯之助同居人群馬縣生れ魚行商人前林カネ(三)は廿一日午後一時半頃同村大字宮字蛭子地内磐炭専用鐵道線路を横断せんとし折柄踏切に來つた貨物列車に兩足首を轢斷され虫の息となつて高坂病院に收容されたが午後三時絶命した

## 一家二名 一時に紅熱

平町新川町一三飲食店白土政司長女信子(二)並に長男義雄(八)の兩名は昨廿一日いづれも猖紅熱と判明隔離されたので直に附近の大消毒を行つた

## 女計りで 賭博開帳

石城郡内郷村大字宮字蛭子飲食店東屋事馬目マス方で同人及び同村同字の山岸アツシ(三)羽田キヨ(三)續柄トシ(三)の四名が女だてらに車座となり花札賭博を開帳中密行の平署員に探知檢舉された

## 平映畫界

平館 日活現代劇島耕二

### 明日のラジオ

廿三日

今朝のラジオ  
今朝のラジオ  
今朝のラジオ

- #### 今晩の部
- 後六、〇〇 子供の時間
  - お話と唱歌(お話齊藤七五郎中將)仙臺市五ツ橋高等小學校二年生大河内克夫(唱歌齊藤中將)仙臺市荒町小學校六年生
  - 後六、二〇 コドモの新聞
  - 村岡花子
  - 後六、二五 カレントトピックス
  - ハロルドパーマー

- #### 明日の部
- 前九、一〇 料理献立一帖
  - 後七、三〇 講演「輸送規則の改正に就て」仙臺鐵道局運輸課長早川慎一
  - 後八、〇〇 諸曲(俊寛)島澤啓次外
  - 後八、五〇 連續浪花節「夕立勘五郎終席」木村友忠
  - 後九、四〇 全國ニュース
  - 氣象通報 番組豫告

- 朝倉長吉
- 前一〇、三〇 家庭講座「兒童舞踊」三花柳珠實
- 伴泰北村季美子
- 後一〇、五〇 浪花節「梶川大力の粗忽」京山華千代
- 後二、〇〇 家庭講座「箏曲」終實演解説宮城道雄
- 後五、三〇 趣味講座「大輪朝顔に就て」二伊藤恒次
- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇「夏」B.K.コドモサークル
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 村岡花子
- 後六、二五 カレントトピックス

- 後七、三〇 ピアノ名曲解説講座 ピアノヤキシムシヤビロ 解説山田耕作
- 一、〇、ベロトウダウエンの夕
- 二、ハ短調變奏曲 三、ハ長調ソナタ作品五十三番
- 第一樂章アレグロコッ
- ンプリオ 第二樂章助奏とアダジオモルト 第三樂章アレグレットモデラート
- 後八、三〇 ラヂオ風景「花火と水と」兩國柳光亭
- 庭先及厩橋梅若能樂堂庭先木上より中繼
- 後九、三一 滿洲より「滿洲音樂」

- #### 平職業紹介所報告
- 回求人部
  - △女中 十七以下 尋卒 給料面談(平町某)
  - △炊事婦 二十以下 尋卒 月五圓(中村町某)
  - △回求職の部
  - △女中 十八才 高卒 給料面談(内郷村某)
  - △雜役 二十六才 高卒 給料面談(耶麻郡某)
  - △大工 二十二才 高一修 給料面談(平町某)
- #### 世界館 東活現代劇
- 郷久義 西川鈴子主演「上海の快男兒」東活時代劇
  - 澤村國太郎 五十鈴桂子主演「明暗白流帖」
  - 河合キネマ現代劇 琴糸路 片桐敏郎主演「天國に結ぶ戀」
- #### 濱口富士子主演「新婚超特急」日活現代劇
- 村田佐久間主演「嬢やの散歩術」日活時代劇、山本、海江田、光岡主演「水戸黃門」

# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 藤 紫 雲 畫

第一百八席

真庭念流の達人櫻井五助

賭場を荒しに

赤尾の林藏は

林「途方もねえ野郎だ」と突如酒藏の横面を打つた、大方の林藏に打たれてコロコロと轉がつたが、此男は熊谷に居ります博奕打で後に領家の造酒藏といつて立派な親分になりましたが、この當時は暴れ者、併し林藏に會つては一言もな

い  
林「これで一杯飲んで歸え」とら錢箱から一兩出して遣つた  
造「どうも濟みません、お貰ひ申して参ります」  
脇差を鞘に納め  
造「飛んだお騒がせ申しましてどうぞ御勘辨を願ひます」

一兩貰つて出て行つたこの賭場荒しが来たばかりに今日の博ちは中止になつた、昨日に引きかへ大分客人が集つて今日は纏つた金が上るだらうと藤藏も喜んでゐたがこの一件で博ちが壊れてしまつた、人間が悪くなつては往生、そこで賭場を切り上げて廣谷を出た林「いみえましい、畜生だな」



藤「親分何しろ曲つて居りますね」  
林「どうも仕方がね、え人間一生には好いことばかりはねえからな、まア時節を待つとしよう、それにしても一杯飲んで行かう」

へ通つた林藏が生玉子で酒を飲みいろ／＼話をしてゐる中に冬の日の暮易く何時か暗くなつた、かはやに行つた林藏がこの部屋に歸つて来たが  
林「藤藏、この裏に川があるな」  
藤「へエございませう」  
林「その向ふに村が見えるが」  
藤「あれには毎晩旦那方が集つて、好い博ちが出来て居ります」  
林「誰の繩張だ」  
藤「猪之松の子分源太郎の繩張でございます」

林「モン伊勢の客人、どうぞ手を貸しておくんないまし」  
云はれて琴次の子分藤藏に仙太郎が  
二人「ようございませう、お役には立ちますまいがお手傳ひをいたしませう」と云つたは博ち場に飛込んで遊びに来てる客の懐中の金を残らず没収企み、これはよく博徒にはある事  
林「藤藏、この家は荒物を賣つて居ります」  
藤「へエ、隣で草鞋などを賣つて居ります」  
林「細引があるんだらう、それを二本ばかり買つて行

て出て来たなら落すつゝお見張つてゐる、藤藏と仙太郎の二人はこれも手拭で顔を隠して表口の戸をサラリと開いて入ると此處は土間奥、の方には大分人が集まつてゐるやうです、それを目的に土間へ参りこゝだと思つたからスト障子を開いてズイと入つたは十五疊も敷かれる廣間百匁がけの蠟燭の三丁もついで眞晝のやうに明るい豪家の旦那方が二三十人集まつて悪戯をして居ります

**一冊の代金で**  
御希望通りな  
**五冊の雑誌が**  
自由に讀める  
**川崎巡回文庫**  
電話六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

**季節御料理**  
柳 川 一人前 金二十五錢  
うな井 金三十五錢  
蒲 燒 金五十五錢  
より

右大々勉強出前迅速  
◎滋養豊富!風味美味!  
是非一度御試食を  
大蒲燒・鳥料理  
壽司・折詰仕出し  
魚 榮

田町、電話四二四番

四人連れで来た先はこの廣谷から東へ一里餘り離れた伊草と云ふ村其處の居酒屋に來た、田舎ではこれをたなといふ、碌なものはありません、焼豆腐の煮付に蒟蒻切鰯或は鮭の鹽引位なもの片々で荒物を賣つて其傍居酒屋をしてゐる、奥

林「ウムさうか」  
と云つたが、貧すれば鈍するやら金がなくなると悪い事をするやうになる、暫く考へてゐた林藏が  
林「藤藏どうも仕方がねえ賭場へ飛込んで懐中を洗つてしまへ」  
藤「エッ、何をします」

藤「承知しました」  
麻繩を懐中に入れた、この勘家を拂つて居酒屋を飛出し川を越えて来た目的の賭場、夜はモウ四ツ頃です十一月の末の事で月はなく悪事をするには都合が好い戸の隙間からチラ／＼もれ

**梅毒**  
淋病 皮膚病 婦人病 胃性病  
**林病**  
十二指 腸虫病

**松村**  
腸病 胃性病 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病

電話一七〇七

**上田外科醫院**  
平町南  
電話一二九番

**久金屋商店**  
磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし  
□確實敏捷は久の生命なり

**吉田眼科病院**  
平町屋町、電話六八番

**安齊外科醫院**  
平町田町  
電話四七五番

X 光線科  
性病科  
外科科  
入院隨意